



看護師
松尾 菜

術前訪問ってなに？

暑い日が続っていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 福田病院では、毎日可愛い赤ちゃんたちが誕生しています。

2020年福田病院では、3495件の出産のうち1056件の帝王切開が行われました。

帝王切開は「予定帝王切開」と「緊急帝王切開」の2つに分けられます。「予定帝王切開」とは、逆子や双子（あるいは三つ子以上）、胎盤が子宮の出口をふさいでいる場合（前置胎盤といいます）、以前に帝王切開やそれ以外の子宮の手術（子宮筋腫をとる手術など）を受けたことがある場合、事前の検査で経膈分娩が難しいと医師が判断した場合などに前もって計画を立て行う帝王切開のことです。それに比べ「緊急帝王切開」とは、妊娠中や分娩進行中に赤ちゃんの元気がなくなったなど何らかの問題が生じたり、母体の要因のために行なう帝王切開のことです。



当院では、予定帝王切開を受けられる患者さまを対象に手術前日または手術当日の朝に術前訪問を行っています。「術前訪問」とは文字通り「手術を控えた患者さまのもとを事前に訪れる」ということです。手術室はマスクをつけ、帽子をかぶり、手術着に着替えた医師・看護師・助産師、そして麻酔器などの医療機器に囲まれており、病棟とは雰囲気が大きく異なります。そのため、多くの患者さまは緊張した状態で手術室に入られます。手術室看護師による術前訪問の1番の目的は、患者さまと面識を得ることで、手術室入室時の不安を和らげることです。非日常的な雰囲気の中にも知っている顔があると、ホッと安心するものです。

では、実際の術前訪問の流れについて紹介したいと思います。

①情報収集

術前訪問の目的の1つは患者さまに適した看護を行うための情報収集を行うことです。カルテから、現在の週数、妊婦健診の経過、既往歴、喘息の有無、血圧・体重などのバイタルサイン、採血データ、内服薬の有無、PCR検査の結果など手術に必要な情報を収集します。



②病室訪問

患者さまのベッドサイドを訪れ、手術室看護師は事前に情報収集した内容を照らし合わせながらお話しします。手術の内容、麻酔の内容に応じて、手術室入室時から病棟に帰るまでの流れを説明します。そして、アレルギーの有無や手術歴など、患者さまからも情報収集を行い手術に必要な情報に漏れがないか確認します。

私は、術前訪問の最後に「何か気になることや質問はありませんか？」と伺います。多くの患者さまが「あとはお任せするだけです。」「特にありません。』とお話しされます。手術室看護師としては、手術や麻酔のこと

疑問に思っていることや先生に伝え忘れたことなど、ささやかなことでも結構なのでぜひ教えて頂き、疑問や不安を解消して手術をうけて頂きたいと思っています。また、術前訪問をした際に「手術中、不安なため手を握っていて欲しい」や「好きなCDをかけたい」、「赤ちゃん」と写真を撮るときに眼鏡をはずしたい」などのご要望がある場合は、場合によっては対応出来ない事もありますが、出来る限りご要望に対応させていただきます。

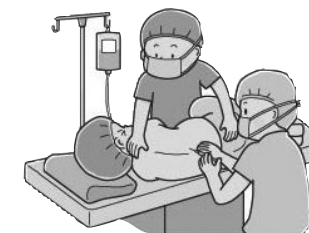
③申し送り・カンファレンス

ベッドサイドでのお話が終わったら、伺った内容を術前訪問用紙にまとめます。一緒に手術に入る手術室看護師や助産師、医師と事前に情報共有を行い、患者さまをお迎えする準備をします。



④手術室入室

患者さまは車椅子または歩いて手術室に入ります。手術準備のため着用している下着(ショーツ)とスリッパを取り、ベッドに仰向けで寝ていただきバスタオルをかけます。そして最後にもう一度、患者さまの名前・住所・生年月日を患者さま本人に言っていただき御本人確認を行います。その他にも、薬剤や食べ物でのアレルギーの有無、喘息(小児喘息を含む)の有無、アルコール消毒使用時に発赤や発疹がでないかを口頭で確認し、手術の準備を始めていきます。



「予定帝王切開」での分娩になる患者さまには術前から出産・手術をサポートさせていただきますので、術前看護訪問に訪れた手術室看護師に心配ごとなどをどうぞご相談下さい。また、「緊急帝王切開」になってしまった患者さまには術前訪問は出来ないことが多いですが、患者さまが安心して手術を受けられるようカルテや担当助産師から情報収集を行い安全な手術、出産のサポートさせていただきますので、手術室に入られてからでもいいので不安なことや要望があれば教えてください。

今後も「患者様が安全・安楽・安心に手術が受けることができるようにサポートします。」を目標に医師・手術室スタッフ一丸となって患者さまに安全・安楽・安心な手術を提供していきたいと思っています。